実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

◎基本情報

【計画ベース】

ı	事業 区分		继続	事務事	事業名	農業担し	\手育	成対策事業				担当部署		経済	建設部経	済局	農林水産	果	
総	合計画体系									根拠法令農業経営基盤強化促進法									
		政策(大項目) 1 うきうき活力と魅力あふれるまちづくり					計画な	تخ	及木柱	日本血压に	人	`							
	政策		項目)					<u> </u>			」 開始		平成	•			6	年度	
			<u>項目)</u>			** 4 1 1 日						事業		77%					
		施				業の振興	ナウル	ィレゴニヽ.バル	ω₩ ₩	£		期間	終期	未定			•		
_	基本事業 1 農業経営の安定化とブランド化の									#0 <i>6</i> /// ^)	ᄣᄱᄼᆧᄝᆂᅷᄝ					=+ \/ 0 + /=			
	☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無																		
	☑ ふるさと納税寄附金等要求 ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求																		
<u></u>	事業概	要	(PLAN	1)							1								
目的 育		本市農業の将来を担う、認定農業者等の担い手の 育成・確保により、産業としての足腰の強い農業を 行い、観光客の増加につなげる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							定審査会な	よどる	を開								
5		認定農業者及び農地所有適格法人等の担い手の育成・確保による農業・農村の活性化と農地の効率的利用促進、耕作放棄地の解消を目指し、引き続き、 (R1) ②農業の の提供を							業の担いき 供を行う。	きの担い手促進のため、支援内容を含めた説明や情報 もを行う。					青報				
	方針																		
					指棋	票名			平成	成29年度実	実績 平原	战30年度実績見込	令和元年	F度目標	令和2年度目	標令	和3年度目標	単	位
活!	助指標	業の活		1															
	した事業の を示す指標																		
ᆙ	果指標			指標名					平成	平成29年度実績 平成		30年度実績見込 令和元年		F度目標	令和2年度目	標令	和3年度目標	単	位
対象	こどのようた あったか示	な効		皇業者数						(394	403		430	4	32	437		人
		各年度の実		平度 平成29年度			Ę	平成30年	丰度	D認定 認定農業では、審査には、審査には、事機業 地域内名と協力 し、効率 経営改 し、新事画の		0元年度		令和2年度			令和3年度		
夷	業の 施内 推移				審査にあたっては、 地域内各JA・県農業 支援センターと協力 し、効率的な経営改 善計画の作成指導 善計画		支援センター	っては ・県農 -と協力 に経営で 成指導	あたっては、審 SJA・県農業地域 ンターと協力 支 的な経営改し、			査にあたっては、 域内各JA・県農業 地 援センターと協力 う、効率的な経営改し、		、業力 とし	認定農業者の認定 審査にあたっては 域内各JA・県農 を援センターと協 、効率的な経営 善計画の作成指 に努める。		は、 農業 協力 営改		
				-	年度		114	令和元年度		A 14 2 15 15			令和2年度		令和3年度				
事業費: (千円				計		初予算額 0	額 補正予算額・繰		聚越額等	全体予算額 0			0		0				

<mark>事務事業名</mark> 農業担い手育成対策事業

◎実施結果(DO)

【実績ベース】

事業	
実施	
内容	

令和元年度実施内容

認定農業者に関しては、認定審査会を年3回(5月・7月・3月)開催し、従来より認定を受けられている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保した。また認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指 導に努めた。

			指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位		
活動指標 実施した事業の活 動量を示す指標	1											
成果指標 対象にどのような効 果があったか示す		定農業	者数		403	394	432	2 437	437	.		
指標			目標達成率(実	績/目標)		91.6				%		
			年 度	亚弗20年南边第		令和元年度決算						
			年 度	平成30年度決算	前年度からの繰越決	算額 決算	算額 令	和2年度への繰起	類 最終事	業費		
			āl	0	0	()	0	0	l		
事業費推和	多		国庫支出金	0	0	0 0		0	0			
(円)		財	県支出金	0	0	()	0	0			
		源	地方債	0	0	()	0	0			
		内	使用料·手数料	0	0	()	0	0			
		訳	その他	0	0	()	0	0			
			一般財源	0	0	()	0	0			

◎評価(CHECK)

今年度の	進捗状況	ほぼ計画	どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		
	指標名	認定農業	美者数	成果指標に対	目標に到達できなかったが、今後も各JA・県			
成果指標に対	目標	430	人		農業支援センタ	マーと協力しながら認定農業者		
する評価	実績	394	人		数の増加に向け	ナた取り組みを増やしていきた		
	評価	B:概ね目標を	達成できた		۰٬۰			

◎今後の方向性(ACTION)

	認定農業者等担い手の育成状況は、特産物等の産地化が定着している地域においては毎年度増加し、新規認定者も確保できている。しかし、山間部や高齢化が進行している集落では担い手の確保が困難であり、農業生産や農地保全に対する合意形成が得られにくい。										
今後の方向	付性	1.廃止		2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3				
↓今後の方向	句性を路	皆まえた上	で、以下の欄に言	己入してください。							
実施内容	令和2年度		利用促進、耕作 用促進と農業の 目指し、支援内	が農地所有適格法人等の 放棄地の解消を目指し、 う高度化を進める。また、 容を含めた説明や情報の 農協と連携し農家への働	引き続き、経営改善計画 農地所有適格法人等の多 り提供を行う。また、認定の	の作成指導や優良農地の 様な形態による農業の担 の要件を満たしている新規	D担い手への利型い手の確保を 記定候補者の				
X,IEP) T	令和	3年度	利用促進、耕作 用促進と農業の 目指し、支援内	が農地所有適格法人等の 主放棄地の解消を目指し、 シ高度化を進める。また、 容を含めた説明や情報の 農協と連携し農家への働	引き続き、経営改善計画 農地所有適格法人等の多り提供を行う。また、認定の	の作成指導や優良農地の 様な形態による農業の担 の要件を満たしている新規	D担い手への利 記手の確保を 記定候補者の				